日本共産党

津軽のくらし・福祉・農業・地域経済を守る

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみ

つがる民報
2019年号外

発行）日本共産党津軽地区委員会　日本共産党の活動を紹介します。
〒036－8051　弘前市宮川2－3－2　TEL0172－34－4127

津軽の声を届けるために
今度もがんばらせてください

みなさんこんにちは。弘前市議３期、青森県議３期と、津軽の声を届けるためにがんばってきました。

議員活動を家庭で支えてくれた障害児教育研究者だった夫を昨年失くしました。夫の“誰もが平和な中で尊厳をもって生きられる社会を”との願いが心の支えです。今、くらしも平和も政治によっておびやかされています。みなさんのしあわせと命を守るために頑張ります。

安藤はるみのプロフィール

- 1952 年生まれ
- 1972 年東京都立練馬高等保母学院卒
- 保育士として 10 年間働く
- 1985 年～ 1993 年　新日本婦人の会弘前支部事務局長
- 1995 年～弘前市議会議員（３期）
- 2007 年～県議会議員（現在）

弘前市清原４丁目在住。
憲法９条つがる女性の会代表
核燃だまっちゃおられん津軽の会副代表

女性の声を政治に！

４人の子育てを経験し、「社会を変えてこそ安心して子育てができる」と、ひとり親家庭の就労支援、子どもの医療費無料化などの子育て支援の拡充を求めてきました。

すべての人が「自分らしく生きられる」社会の実現のために、LGBT（性的少数者）支援のさらなる前進へとがんばります！

私も期待しています！

私が安藤はるみさんに初めてお会いしたのは、新日本婦人の会の「親子リズム」です。名古屋から弘前に来て３人の子育てに戸惑っていた時、公園の友から誘われ参加。安藤さんの穏やかでゆったりとした語りかけに親子共々、安心したのを覚えています。がんばって！

声楽家　井上よし子さん

私も期待しています！

安藤はるみさんは、市議三期、県議三期の立派な実績を持った女性政治家です。しかも、長年にわたってご主人の難病をお世話しながら、自分にふりかかる苦難・ストレスと葛藤しつつ、人々の幸福を第一に考えて行動していました。昨年９月に亡くなったご主人の房治さんの「思いっきりやっていいよ」の願いが後押しをしていることでしょう。今、地方の再生のためには、ここに生活の場がある人々の仕事の活性化、健康と福祉の充実、豊かな子育ての場の確保が求められています。はるみさんはご主人から与えられた「その時間をつかって　あなたも臨んでいた　憲法を守る道をひた走る」（はるみさんの詩「愛しきあなた」より）を誓って、頑張っています。

はるみさん！房治さんと一緒になって応援しますよ。

右が神田健策さん

津軽９条の会共同代表
弘前大学名誉教授　神田健策さん

子どものいのち守る県政へ

◆子ども医療費無料化は、所得制限が緩和され対象が６割から９割へ拡大。

◆医療的ケアを必要とする子どもへ継続的な支援を求めて、母子医療センターに「成育科」が新設。

◆むつ養護学校での給食実施。

私も期待します！

「親と子が健やかである」ために、社会の支援･制度の充実へと、これからもがんばってください。

健生病院産婦人科医師
斎藤　美貴さん

医療、福祉、介護の充実へ

◆医師・看護師・介護従事者の増員を求め意見書を提出し、全会一致で可決。

◆国保の滞納世帯へ機械的に差し押さえや短期被保険者証交付などの制裁をやめよとせまる。

**国保料の負担軽減へ、
国の公費負担を増やす運動を強めます！**

私も期待します！

中畑歯科医院医師
中畑　範彦さん

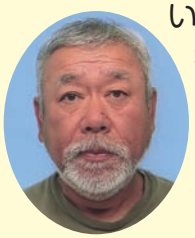
津軽の農家の声を届ける

◆昨年はりんご黒星病の被害が大規模に発生。紙智子参院議員と津軽地区で活動する地方議員とリンゴ園地を視察し、県や国に対策を求める。

**種子法の復活をもとめて、
みなさんと力をあわせ頑張ります！**

私も期待します！

私はりんごと米を生産する専業農家です。TPP11 や EU との EPA が発行され、農産物の関税の引き下げや撤廃で農家はますますきびしい状況になるのは必至です。ぜひとも安藤はるみさんには、持ち前のバイタリティでこの状況を打破してもらいたいと思います。
私も応援します！



農業者
工藤　保さん

働く人や企業の声を届ける

◆ブラックバイトから学生を守る対策、障害者雇用の拡充、倒産による失業対策など、国会議員や地方議員といっしょに雇用・働く環境改善のために行動。

◆教職員の長時間労働の改善のため、党の提案をもって学校を訪問。

「教職員の長時間労働是正」のための党の提案
（2018年１１月発表）

現地へすばやく駆けつける

◆北朝鮮からとみられる「木造船漂着」では、高橋千鶴子衆院議員といち早く現場に駆け付け、木造船の処理費用が交付される。

◆医師不足の打開へ、自治体関係者や病院を訪問・調査。

県と交渉しました

市民と力をあわせて県政を動かす

◆農村整備事業にかかわる問題で、市民から寄せられた告発（情報公開で手に入れた資料）をもとに、県の不正をただす。

◆２０１８年１２月議会で、消費税10％への中止を求める意見書に賛成。（意見書は、反対多数で否決）

消費税１０％増税は中止に追い込みましょう！

この津軽になくてはならない議席

安藤はるみ 3つの値打ち

1 市民の声をまっすぐ議会へ届ける議席

コメとりんごを守る、原発ゼロ、安心の医療・福祉、歩道・通学路の安全、洪水対策・・・。津軽の願いを県政に届けてきました。４年間の発言回数は４５７回と他会派議員と比べてもダントツです。

こんな声も！

毎月開いている委員会で「毎回、質問に立つのは安藤県議だけ」と語る県の幹部職員もいます。

2 市民と力をあわせて政治を動かす議席

「九条を守ろう」の一点で一緒にやりましょう、と他党の女性市議に共闘をよびかけ、「憲法九条つがる女性の会」を 2004 年に発足。「戦争法廃止」、「原発ゼロ、金曜日行動」など、市民とともにねばり強く運動を広げてきました。

3 国にモノ言える議席

「消費税１０％になれば店を閉めるしかない」（小売店）、「今はかけこみ需要で仕事はあるけど、増税後が不安でたまらない」（建設関係者）などの声に応え、増税反対をブレずに主張し、「戦争する国づくりストップ」、「原発ゼロ」など一貫して声をあげてきました。

“国いいなりの政治”では、地域がこわれてしまいます。くらし、平和、ふるさとを守る願いは安藤はるみへ。

質問する安藤県議

母子医療センターを訪問・懇談

共産党をのばして　安倍政権にさよなら！

弘前から審判を下そう！

「市民＋野党」の本気の共闘が安倍政権を倒す、一番の力です！

　ウソとごまかしの政治、憲法９条改憲に暴走、景気を悪化させる消費税増税 10%、女性差別や人権侵害…

　「市民＋野党」の本気の共闘で、安倍政権にサヨナラしよう！

安倍内閣総辞職を求め市民と共にデモ

ブレない日本共産党を伸ばして、新しい政治を一緒につくりましょう！

　党創立から 96 年間、国民の苦難軽減をモットーにがんばってきました。

　国民の苦難のおおもとには「アメリカいいなり」「大企業優先」の自民党政治があります。行き詰まった自民党政治を変える“改革のビジョン”をもった日本共産党と新しい政治をつくりましょう。

私たちもがんばります

党県書記長

さいとう みお

参議院議員

紙　智子

衆議院議員

高橋 千鶴子

弘前市議団

こし 明男

石田　久

千葉 こうき